

子どもたちが遊び込める環境をつくりたい！！

子どもたちが、自発的に遊びを見つけて遊び込める環境をつくりたいということで職員自らプロジェクトをつくり、園庭改造に取り組むことになりました。まずは園庭での自然環境にかかわる遊びに着目すると、水たまりの中に入り、ひやっとする水の温度やぬめぬめする土の感触を楽しむ様子がみられました。小さい子どもたちは、砂や葉っぱや花でケーキを作るなどイメージをふくらませて遊んでいます。



築山で遊ぶ子どもたちをみた人はきっと森の中の小さな山に目が行く事でしょう。地域のお子さんたちも山に登るようになるでしょう。

そうした時にはいつでもご案内し、築山が地域の憩いの場となるようなコミュニティの形成も目指していきます。

<完成予想図>



子どもたちの姿から幼児の主体的遊び環境として3つのエリアで構成された築山のある園庭へと改造していく計画をたてました。

起伏のある園庭は全身の多様な動きを促し心身を発達させていきます。畑をつくることで、植物の生長や収穫の喜び、食への関心を高めていきます。樹木のあるエリアでは生き物との出会いや命の大切さを知らせていきます。

自然環境で構成された築山は、遊びのきっかけや拠点を発見したり、創造したりできる冒険的な遊びの空間となります。

